

高所作業車 作業手順

	内 容	留 意 事 項	危険性・有害性の洗い出し	重篤度	可能性の 度合	リスク評 価	優先度	リスク低減措置
準備工	<ul style="list-style-type: none"> 作業内容の打ち合わせ(KY)活動 作業人員の確認 作業位置・規制の確認 使用機械の点検 保護具の点検 作業方法の確認 	<ul style="list-style-type: none"> 安全品質作業指示書による 講習修了者を中心に編成、各種資格の確認(資格証の携帯) 規制整理番号の確認 日常点検の実施 保護具・眼鏡の装着 						
規制設置作業	<ul style="list-style-type: none"> 規制箇所・位置の確認 規制標識の設置 規制設置 	<ul style="list-style-type: none"> 規制整理番号の確認 設置位置は、道路状況に応じて適正な位置を選定 						
高所作業	<ul style="list-style-type: none"> 車両の配置 アウトリガーの張り出し デッキの操作 ハンマーによる打音点検補助 伐採、事故復旧作業 アウトリガーの格納 	<ul style="list-style-type: none"> 車両の操作は有資格者で行う 車両の設置は、極力水平な箇所を選定し、サイドブレーキ・前輪後輪に歯止めををする(傾斜地では、前下がりに位置決めをする) アウトリガー張出しは、周囲に障害物、人が無いかを確認する アウトリガージャッキセットは、敷板を設置し、前・後の順にすべてのタイヤが浮くようにセットする 車両が水平になるようにセットする。 強風時は使用しない デッキ操作は、周囲に障害物が無いかを確認し、作業員が構造物等に挟まれないように注意する 高所作業車配置時は、必ず下部監視者を配置し、無線などで確認をする。また、監視者がいない場合は操作を行わない。 作業床での作業は、安全带を使用する 作業床から身を乗出したり、踏台を用いての無理な姿勢・不安定な姿勢で作業を行わない 作業床から、道具等の落下に注意する はつり作業時は、飛散防止対策を行う 各手順書による 車両の操作は有資格者で行う 作業床が格納状態であることを確認する アウトリガージャッキ格納は、後・前の順に行う アウトリガー格納時は、作業員の挟まれに注意する(完全格納の確認) 	<ul style="list-style-type: none"> 作業員がアウトリガーで挟まれる 高所作業車が転倒する。 作業員がデッキと構造物に挟まれケガをする。 作業床より転落する 小道具を落とし通行車両に当てケガをさせる 	5	1	6	Ⅲ	<ul style="list-style-type: none"> 周囲を確認してアウトリガーを張り出す 有資格者の配置 敷板を使用する 有資格者の配置 必要に応じ挟まれ防止対策を実施する 下部監視者の配置 安全帯の確実な使用 フックを腰より上の堅固な箇所に掛ける 小物入れ用の箱等を使用する 落下防止ロープの使用
規制撤去作業	<ul style="list-style-type: none"> 規制撤去 規制標識の撤去 	<ul style="list-style-type: none"> 規制内に道具等の置き忘れが無いかを確認する 保安員を配置し、一般車の誘導を行う 積み込みの際は、規制材の落下防止を確実に 						
作業終了と後片付け	<ul style="list-style-type: none"> 終礼の実施 							

注意事項

強風・大雨・大雪等の悪天候時には、作業を行わない
 高所作業車の乗車席・作業床に定員以外の人を乗せない
 高所作業車を主たる用途以外に使用しない
 落下物のある恐れのある時は、デッキ内に飛散防止ネットを設置する